

事故・怪我発生報告書

E.M.U-JAPAN

氏名	子 満 21 歳
発生日時	2003 年 5 月 13 日(火) 16 時 30 分頃
発生場所	学内第二体育館
発生部位	左足首外側
症状	腫れと激しい痛み
処置	RICE 処置後、安静を維持して、痛みが少し引いたら、氷嚢で患部を冷やしたまま帰宅。 (帰宅後にスポーツ整形外科に行き、治療) <div style="text-align: right;">処置者 広沢コーチ</div>
医師の診断	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; margin-right: 5px;">有</div> / 無 </div> 診断結果 左足首の内反捻挫による靭帯損傷 <div style="text-align: right;">全治 3週 間</div>
治療方法	湿布とバンテージによる固定。

原因(状況)	今後の対策
本人 スタンドの着地でバランスを崩し、約1、2mの高さからの着地で足首を捻ってしまった。簡単な技なので面倒くさがってマットを敷かずに行ってしまった。油断と過信が原因だと思います。	本人 大会前であった為に気持ちが焦ってしまい、安全対策を怠り、集中した練習をしていなかった。もしもっと大きな怪我だったら大会にも出れずにみんなに迷惑を掛けていたと思う。準備運動も念入りにします。
責任者 普段からマットを敷くように指導していたが、確認を怠ってしまった。付近も人が多かった為、集中力も欠けていたように思う。	責任者 この先、もしもの時に備えて簡単な応急処置は選手自身で出来るように指導する。大会前は演技に振り回されずに安全対策を怠らないように指導する。

2003 年 5 月 20 日(火) 広 沢 コーチ